二〇二〇年度 茨城キリスト教大学入学試験問題

国語 (A日程)

(解答は解答用紙に記入すること)

I 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

訳ない気持ちになる。食べなくてはならない。だけど食べられない。早くこの苦しい時間が過ぎてくれれば-①もうすぐ掃除の時間がやってくる。ずっと座って食膳の上で一向に減らない給食をみつめる。残飯として捨てるのは(あ)。なんだか申し

②一九七六年に生まれた私が、とりわけ幼稚園から小学校低学年にかけて、最も思い出したくない給食の思い出を結晶化すればこんな感じになるだろの一九七六年に生まれた私が、とりわけ幼稚園から小学校低学年にかけて、最も思い出したくない給食の思い出を結晶化すればこんな感じになるだろ 児童に給食を残さず食べるように指導して、四人が計八回嘔吐していたことが発覚したように、現在も無理やり食べさせる指導は消えていない。 私の世代にかぎらず、給食が苦痛だったと振り返る人びとは少なくない。岐阜県の市立小学校で、二〇一六年四月から一二月まで五〇代の教諭 (『朝日

新聞』夕刊、二〇一七年九月二六日付)。

③給食史の頂点に君臨する不人気なメニューは、少数の愛好者を例外として、脱脂粉乳であろう。多くの子どもたちの体位を向上させる一方で、(イイ ━━━ たのは、 の目玉焼きを見るたびに心が暗くなった。地元のスーパーでも売っていない低品質の、ギリギリまでコストを下げた食品だった。大人になって気づい に恵まれた地方で育ったはずの私は、白い脂の塊が凝固している冷めたソーセージ、茹でてしばらくたったホウレン草の塊、その上にのったカチコチ と下痢を引き起こし、鼻をつまんで飲んだり、ドブに捨てたりした脱脂粉乳は、小麦とともに、初めはアメリカからのプレゼントだった。比較的食材 私も含めた子どもたちの食の楽しみが、コスト削減のターゲットだったことである 腹痛

④給食は、人によってとらえ方がさまざまだが、大まかに次の二点に分けられよう。

を寡占しなければ、こんなにも冷凍食品が給食で提供されなかっただろう。 国会や地方議会がもっと給食の価値を議論し、もっと補助金を計上し、もっ^(ゥ) ==== 強制的な食生活の改造とまとめてもよいだろう。敗戦後、日本がアメリカの勢力圏に置かれなければこれほどまでに日本にコッペパン、脱脂粉乳、牛 ⑤まず、給食を、アメリカ、政治、企業や学校の、子どもに対する直接的かつ集団的な権力行使ととらえること。将来の人材育成と市場開拓のための(B)______ ラーメン、パスタ、ケーキは広まらなかったし、そもそも製粉業者がここまで発展しなかっただろう。食品産業や食品の卸業が給食市場

立った。 切るまで席を立つことが禁止されるのは、 シスコ講和条約後のアメリカの小麦生産者や商社にとって、 と自校方式の給食を増やしていれば、給食はもっとおいしくなっただろうし、弁当を持参できず惨めな思いに至った子どもたちを救えただろう。(注1) 先生の児童に対する最も分かりやすい権力の発現と言える。 日本の子どもの味覚を変える給食は、 現在と未来のアメリカ産農作物のお得意先作りに役 そのうえ、 一九五一年に締結されたサンフラン

脚本は給食の献立を考えたり、 ⑥他方で、 ている。 のために学校に通うと公言する子どもたちは、 給食は学校の時間に潤いのようなものをもたらしてもいた 給食を、 未来を構想する魅力的な舞台ととらえること。「食を通じた自治空間創出の実験」と言ってもよい。 調理をしたりする人たち、 昔もいまも存在する。 演出家は教師、そして、その 実は、 給食を食べるのが楽しみで働いているとこっそり漏らした教師も数人知 i j は子どもたち。 スポンサーは自治体と保護者、 国語・算数が嫌いでも、

曲や好きな曲を流すときの気分はなかなか良かった ⑦私の場合、 行動を冷ややかに笑い、 一口で頰張ったり、 給食のことで頭がいっぱいになる。カレーやハンバーグだと心が躍った。鯨の竜田揚げも悪くなかった。 こともあった。 高学年になると、給食時間は待ち遠しい時間に変化していった。(舌の先端が血で滲むまで先割れスプーンの先をなめる癖はずっと直らず、 スープの器を舌でなめ回したり、 ひそかに憧れた。ある友人は、 魚の食べ方を私に説教したり、牛乳を何本も連続で飲んだりといった、同級生たちのワイルドな 私の嫌いな食べ物を察してわざと盗んでくれた。 う いつも舌はヒリヒリしていた。それでも、 \prec 隣席の子の食べる音が気になって給食に集中できな 鼻から牛乳を出し入れしたり、 放送室に給食を持って入り、 四時間目にはもう 友人に頼まれ 冷凍ミカンを

道の蛇口をひねると熱々のお茶が出てくる。秋田県湯沢市では郷土食としてきりたんぽやじゅんさいの汁が登場する。フグの産地である山口県下関市(注2)(注3) 近郊の小学校では「ふく給食」 のメニューは揚げパンであった。地域の特色も豊かである。 食の思い出を尋ねてみた。 ⑧二〇一八年四月一一日、 ボテンアイス」や「サボテンきしめん」が献立にある。 京都大学文学部・文学研究科の講義「食と農の現代史」で、 居残り給食の苦痛を語る学生もわずかだがいた。(が出る(地元では縁起をかついで「ふぐ」ではなく「ふく」と呼ぶ)。サボテン生産量が日本一の愛知県春日井市では 岐阜県各務原市の給食には五平餅や鮎も登場する。 お 本当にサボテンが入っている。 ž 私よりもほぼ二〇年若い三、四回生の学生や大学院生たちに給 総じて明るい。 講義室にいる学生たちのなかで最も人気 京都府宇治市ではお茶飲み場に行き水

京都世田谷区には給食の生ゴミを専用の機械で肥料にし自家菜園に用いる副校長がいた。 ⑨給食時間は 牛乳ビンをくわえ込んで一気飲みする奴は英雄だった」と振り返る。 「役者揃い」である。神奈川県横浜市の小学校には余ったおかずを「愛のひとくち運動」と呼んで、少しずつ全員に配る先生がいた。 兵庫県神戸市の小学校に通っていた学生は、 兵庫県姫路市の小学校出身の学生は、「ミカンを皮ごと食べる 週に三回登場するコッペパンの 東

余りものを三回中二回は勝ち取っており、一時期あだ名が「コッペパン」だったという。「コッペパン」は、箸箱に余ったパンをつめ込んで牛乳と混ぜ て固めておき、それを「チーズ」と命名して学校の帰り道で食べたという。給食の勇者列伝である。給食はたしかに子どもたちの野性を部分的に解除

できる場所でもあった。

暇中に体重を急激に落とすこともある。とりわけ、給食未実施の学校では、弁当を持参できない子が大量の水を飲んで空腹を紛らしたり、 ⑩さらにいえば、過去も現在も貧困や家庭内暴力ゆえに学校給食が唯一のまともな食事である子どもは少なくない。だから、貧困状態の児童が長期休 や図書室に座ったりして、昼食の時間が終わるのをじっと待ち続けている。給食が子どもを生かす。これも給食の現実である。(中略 校庭の片隅

る。たとえどれほど外国の小麦生産者や、政治家と結託した食品卸売業者の圧力が強くても、食の解放区を学校に打ち立てた先人たちは少なくない。この(4)==== に感想とお礼を直接言えて、いつのまにか食べられるものが増え、残菜がほとんどないという理想は夢物語では決してなく、一部地域でもう実現されてい の道は残されていない。農薬や化学肥料を極力使っていない地産の野菜を用いた温かくて味の豊かな給食が毎日学校で提供され、調理をしてくれた人たち ⑪子どもがしっかり学習し、充実した学校生活を送れるよう尽力するという学校教育の原点さえ見失わなければ、虐待のような矯正指導には、 給食の歴史は、政策構想を担う大人たちの怠慢の記録でもあり、それに敢えて対抗した大人たちの勇敢さの記録でもある もはや復活

(注 1 自校方式 …………… それぞれの学校の給食室で給食を作る方式を「自校方式」、学校外に給食センターを作り、 式を「センター方式」と呼ぶ 複数の学校に配達する方

(注 2) きりたんぽ 秋田県地方の郷土料理。 米飯をすりつぶし、杉や竹の串に塗りつけて焼いたもの。

(注3) じゅんさい ………… スイレン科の多年生水草。若芽や新葉を食用にする。

(藤原辰史『給食の歴史』より)

- (ア) 結晶化 a 貴重な体験だけを厳選して書くこと
- b 自身の体験の蓄積を端的に言い表すこと
- \mathbf{c} 曖昧な記憶を確実な事実に結びつけること
- d 思い出の中から特に重要な部分を取り出すこと
- a 最強の力を持つこと

(イ) 君臨

- b 国王として国を統治すること
- \mathbf{c} 権力を悪用して第一の地位を維持すること
- d 絶対的勢力を持ったものが他を圧倒すること
- a 企業が食品保存に尽力すること

(ウ) 寡占

- b 給食市場に大企業が参入すること
- c 給食の生産や販売の大半を支配すること
- d 冷凍保存車での運搬に過度に頼ること
- a 賄賂を使って利益を得ること 示し合わせて事を行うこと

b

(エ) 結託

選挙に勝って特別の地位を築くこと

 \mathbf{c}

参政権を利用して政治に口を出すこと

d

a 奴隷制をいち早く撤廃した区域

(オ)解放区

- b 難民を積極的に受け入れている区域
- \mathbf{c} 政府側の支配地域の中で革命勢力が存在する区域
- d 権力に反抗して、一定の人々が自ら治めている区域

(あ) a 不愉快だ b やむを得ない \mathbf{c} うしろめたい d 名残惜しい

(1) a 主役 b 脇役

(え) a だが ž

a

そして

b そのため

c なかでも

d

たしかに

 \mathbf{c}

d 観客

(お) a しかし

問三

傍線部Aに

三つあげ、番号で答えなさい。

b b やはり もちろん

c

そして

d それゆえ

 \mathbf{c} ところが

d やむなく

「無理やり食べさせる指導」とあります。以後、この文章中で筆者は、同じような内容をくりかえし述べています。それが含まれる段落を

問四 傍線部Bに、「市場開拓」とありますが、具体的にはどういうことですか。説明として最もふさわしい部分を本文中から十五字以内で抜き出しなさい。

問五 傍線部Cに「子どもたちの野性を部分的に解除できる場所」とありますが、どういう意味ですか。本文中の意味としてふさわしいものを、 次の

a~dから選び、記号で答えなさい。

a 先生が、子どもたちに対して理想的な指導ができる貴重な場所

b 子どもたちが、自らの力で未来を構想することができる魅力的な場所

 \mathbf{c} 子どもたちの、普段は許されない型破りな行動が許される数少ない場所

d 貧困や家庭内暴力によって虐げられた子どもたちを保護する役割を持つ場所

次の(1)~(6)について、筆者の主張にふさわしいものには○、そうでないものには×を記しなさい。

問七

1 戦後の日本の給食制度は、アメリカの経済を潤すことも一つの目的であった。

(2) これからの学校給食は、アメリカや日本の行政機関に対抗して、輸入品を使わないようにすべきだ。

3 食品の冷凍技術が現在ほど発展したのは、食品産業や卸売業者のたゆまぬ努力があったからである。

過去の給食は、経費節減のために低品質な材料が使われる傾向があった。

<u>4</u>

6 筆者は、最終的に自校方式の給食を推奨している。

現在の給食制度は、受け入れたアメリカの食文化を、

完全に日本化したものである。

5

 ${\rm I\hspace{-.1em}I}$

問一

次の①~⑤の傍線部の漢字の読みを、ひらがなで書きなさい。

②家の外を見ると稲妻が閃いた。

①勝利で初陣をかざった。

③固唾をのんで見守る。

④立錐の余地もないほど観客があふれた。

⑤和紙を漉くという伝統を残したい。

①オウ面鏡を使って光を集める。

②フロシキは何でも包めるから便利だ。

③立派な人材をハイシュツする。

④敵の野望をクダく。 ⑤交通をシャダンする。

問三 次の①~⑤の四字熟語中の□に当てはまる漢字を、それぞれ a~dの中から選び、記号で答えなさい。

⑤愛別離□	④真実一□	③質実□健	②百□夜行	①換□奪胎
		a 豪		
		b 強		
		c 剛		
		d 合		

①難しい交渉を成功させるためには、まず内堀を埋めることが大切だ。

②長い間、海魚の交わりを結んでいた友人が亡くなった。

③「ずいぶん高い買い物をしたんだね」「ああ、手元を見られて値を釣り上げられたようだ」

④あの無計画なやり方では、月夜に鉄砲、うまく行くはずがない。

⑤鬼面人を驚かすようなやり方では、多くの人間を納得させることはできない。

問五 次の①~⑤の意味を表す語句として最もふさわしいものを、それぞれa~dの中から選び、記号で答えなさい。

①芸術作品や書物などを、活用することなく、仕舞い込んだままにすること。

②公のものを自分の所有物にすること、またそのように振舞うこと。 くすねる b b ねだる お蔵入り \mathbf{c} 擬する d d

門外不出

私する

③何かの組織やグループを主催する人、まとめ役のこと。

④純粋で混じり気のないこと。 オーガナイザー b トップランナー c キーパーソン d パイオニア

a 欺瞞 b 詭弁 c 妄言⑤ごまかしたり、こじつけたりすること。

爛漫

b

正銘

 \mathbf{c}

天衣無縫

d

生一本